

一般社団法人 千葉県社会福祉士会
2019 年度 第 5 回理事会議事録

1. 開催日時 2019 年 11 月 3 日（日）10：02～12:20

2. 会 場 塚本千葉第五ビル 3 階 事務局

3. 出席者 会長 渋沢
副会長 常陸谷、四ノ宮、浅見
事務局長 樽林
会員理事 (総務委員会 広報部会) 古澤
(総務委員会 企画部会) 岡本
(総合相談委員会) 竹嶋
(研修委員会) 宮下
(ぱあとなあ委員会) 小川
(司法福祉委員会) 大浦
(災害対策委員会) 市原、服部
外部理事 山本、矢部、若林
監事 山口(定)
傍聴人 秦野、和田

敬称略

4. 議 題

(1) 会長と三役会からの報告

- ① 被災地支援の件
- ② 役員・代議員選挙の公示について
- ③ 会員への苦情の件
- ④ 松戸荘の見学の件
- ⑤ 事務局職員の採用の件
- ⑥ 次年度事業計画と予算案の件
- ⑦ 拡大地域集会（12/15 開催予定）
- ⑧ 2020 大人の文化祭（2/22 開催予定）

(2) 各委員会報告事項に対する質疑

（事前資料によりご確認ください）

(3) 議事

- ① 災害ボランティアへの補助金支給の件
- ② 公営住宅の問題について、「福祉と司法の連絡会からの意見書」確認及び承認の件

5. 議事録

○ 出席者の確認

事務局次長より、遅刻予定 2 名連絡いただいております、現在、理事会出席者 15 名 定款第 34

条により定足数に達しており、本理事会は成立する また、規程第 27 号理事会傍聴規程により、傍聴人が 2 名参加と報告

事務局次長：

会長より開会挨拶をお願いする 三役会は会長、副会長、事務局長、事務局次長で構成されている

○ 会長から開会挨拶

- ・ 台風 15 号、19 号に続く大雨で、災害ボランティアセンター（以下、災害 VC）を立ち上げたのが、長柄町、長南町、茂原市、佐倉市である
- ・ 長南町、佐倉市では市町村内の関係団体での対応で市外からの応援は予定しないとのことであった
- ・ 会としては 11 月 2 日から、茂原市では、一般ボランティア（以下、ボランティア→VC）を呼びかけ、長柄町では、災害 VC 支援について、ホームページや被災地支援活動協力会員へのメーリングでの呼びかけを行っている
- ・ 社会福祉士として出来ることを探しながら活動が続けていきたいと思っている

○ 傍聴人自己紹介

- ・ 社会福祉士個人事務所を立ち上げており、佐倉市地域で頑張っている 現事務局長にお声掛けいただき、協力できることがあるかなと傍聴させていただく 宜しくお願いする
- ・ 十月の中旬から事務局業務のお手伝いをさせていただく事となり、実務は 11 月から、おおむね週 1 回の予定である 宜しくお願いする

○ 三役会報告

事務局長：

① 被災地支援の件について

- ・ 会長のお話でもあった通り、9 月の台風 15 号から災害が続いており、被災地支援が続いているところである
- ・ 多古町、鋸南町、館山市については、災害 VC 運営支援を、富津市については、戸別訪問（10 日間）が会として行った支援であった 台風 15 号に関しては 10 月末をもって終了
- ・ 新たな大雨による災害が発生し、支援依頼を受け、長柄町の災害 VC 運営支援、茂原市のボランティア支援について、ホームページや、被災地支援活動協力員のみなさまに呼びかけさせていただいているところである
- ・ 理事のみなさま、理事会終了後、ぜひ各委員会にお声掛けいただき、ホームページを確認いただき、ご協力いただく様、お声掛けをお願いする
- ・ 活動した方については 5,000 円の補助をさせていただく 後程議事で説明する

② 役員・代議員選挙の公示について

事務局次長：

- ・ 10 月 18 日第 1 回選挙管理委員会が委員 5 名で開催され、前回の実施状況の案内含めオブザーバー参加した 10 月 30 日公示をホームページに掲載したことを報告する

③ 会員への苦情の件

事務局長：

- ・ 倫理案件について、調査委員が決定し 11 月末に調査を実施し、倫理委員会が開かれる予定である
- ・ 苦情相談担当者については規程をしていなかったが、時間をかけての対応となることがこれからも想定される これについては、今回分から報酬規程対象とさせていただく

④ 松戸荘の見学の件

事務局次長：

- ・ 前回、理事会で呼びかけさせていただいたが、災害もあり対応忙しい理事もおられる事と思うので、今回は参加できる理事のみでの見学を 12 月 13 日（仮）に予定している日程調整確定後、改めて案内させていただく

⑤ 事務局職員の採用の件

事務局長：

- ・ 週 1 回ではあるが、事務局業務をお手伝いいただく事となった 社会福祉士であり、会員でもある

⑥ 次年度事業計画と予算案の件

- ・ 災害対応も重なり、予算案精査しきれていないところである 事業のスタッフ報酬が報酬規程通りではない場合が散見される 各委員会で事業毎のスタッフ報酬を excel 一覧にして提出願います 本日午後予定していた予算ヒアリングは延期とする

⑦ 拡大地域集会（12/15 開催予定）

- ・ 先にご案内の通り、世話人含め各各地域のみなさまに集まっていただき、拡大地域集会として 12 月 15 日、千葉市役所前の中央コミュニティセンターにて開催する 理事のみなさまもぜひご参加をお願いする 詳細は改めてご案内させていただく

⑧ 2020 大人の文化祭（2/22 開催予定）

事務局次長：

- ・ 10 月 26 日の事前打合せは、参加人数調整が出来ず開催されなかった 改めて 11 月 30 日に打合せ予定である

質疑：

- ・ 「大人の文化祭」の名前はそのまま？変更されると聞いていたが

事務局次長：

- ・ 分かりにくい等のご意見を前回いただいており、それも含め、11 月の打ち合わせでみなさまのご意見お聞きする予定である

○ 各委員会報告事項に対する質疑

各委員会資料の通り

（研修委員会）

説明：研修委員長

- ・ 資料の通り 基礎研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの来年度日程を報告する
- ・ 全国生涯研修会議に参加したので内容を抜粋して報告する
 - ①『認定社福祉士』について 2025 年までに 7,000 名の増員登録を目指す
 - ②『実習指導者講習会』は来年度から内容が大幅に変わる予定
 - ③『e-ラーニング』について、全国で約 2,000 名が利用、千葉は 68 名にとどまっている来年度以降も各県士会負担どうするのか議論となると思われる

質疑：

- ・ 報告資料の中に東京成徳大学の事業中止とある 中止の理由はいかがか

説明：研修委員長

- ・ 受講者が2名となったために中止が決定したと、担当者から報告があった

(ばあとなあ)

説明：運営委員長

- ・ ばあとなあ関東甲信越ブロック協議会を10月19日に千葉ばあとなあが主催で開催され、各県士会ばあとなあで抱えている問題について意見交換した
- ・ 名簿登録にあたり、現状では名簿登録員研修修了者が、ばあとなあ名簿登録員なれば受任につながる
ばあとなあの中で、受任できない資質の方と判断された方については登録員としないことを決めないといけないのではないか その議論が委員会の中でされることが必要

(司法福祉委員会)

質疑：

- ・ 今年度、マッチング実績は何件か

説明：司法福祉委員長

- ・ 今のところ1件だが、あと3件上がる予定である

(災害対策委員会)

説明：災害対策委員長

- ・ 10月15日、千葉県健康福祉部より災害福祉支援ネットワーク構築の体制、DWATの編成について来局されての相談があり、会長と共に面談対応した
面談後に更に台風19号、大雨災害があり、具体的な動きは予定より遅れる可能性有
- ・ かねてより連絡の通り、旧登録者含めて「被災地支援活動協力員」名簿の更新中であり、現在登録者57名、旧名簿登録者で更新登録の申し込みの無い方については、連絡時点で31名に個別連絡させていただいたところである 実際の支援活動に関わっておられる方もあるかもしれないが、名簿及びメーリングリストのデータは12月1日をもって更新、登録更新申し込み無い方のデータについては削除させていただく
- ・ このたびの災害対応でご利用いただく、災害支援の補助金の請求書の様式を改めて作成したので報告する
支援活動下さった皆様にそれぞれに提出いただいた報告書兼請求書を基に、多古町、鋸南町、富津市、館山市、長柄町、茂原市それぞれ取りまとめをお願いしている理事に事業実施収支報告書を作成いただき、事務局に添付提出いただく その後にそれぞれの方に補助金振込の流れとなる
- ・ 日本会から災害支援金の連絡が来た 災害県ではあるが支援金支出どうするかご意見をお願いしたい

質疑：

- ・ 助成金をいただいて、支援金はおかしいのでは
他方、災害VCでは使用費目に制限があり、すぐに必要でも購入できないこともあるので災害対応全般で利用できる助成金がありとても助かった

事務局次長：

- ・ 被災県としては、被災地で使っていただく支出が望ましいので、支援金支出は控える
ご承認いただける方挙手をお願いする→賛成過半数
 以上により、支援金支出しないこととする

議事

① 災害ボランティアへの補助金支給の件

説明：事務局長

- ・ 規程からは災害対策委員長と三役で決める事が出来るのだが、支出が大きくなることが予想され、みなさまのご意見をいただきたく、議事とした
- ・ 本日、長柄町の支援に入っている山口理事より遅刻してでも皆様に伝えたく理事会出席予定であったが間に合わないとのことで今、届いたメールを配布代読する
- ・ 台風 15 号での支援の当初は災害支援本部の立ち上げ前に旧役員の方が被災地の救援呼びかけに応じたのが始まりである 台風 15 号の支援で他県から支援下さった方から、その後の大雨の後に支援要請があった 会の依頼は無くても支援に駆け付けた会員に対して助成金補助対象として良いと考える 災害 VC での運営支援に限らず、ボランティア作業しながら専門職としての活動を行っていることもある
- ・ 公益目的支出のみで支出が認められる資金が会にはある まだまだ支援は続くが、補助すべきと考える

質疑：

- ・ 災害 VC が立ち上がる前の段階で、自主的に支援に行った場合はどうするか
- ・ ボランティア活動として被災地に入っている社会福祉士もいると思われる 補助金対象となる支援活動との線引きはどこですれば良いのか
 災害当初は、後追いとなる場合もある 台風 15 号の支援は、まさにそうであった
- ・ 会としてのガバナンス、この活動支援に対して補助するという統制は必要ではないか
- ・ 会員が被災した場合のお見舞金等はないのか 会の姿勢として、今後、検討しても良いのではないか

事務局次長：

- ・ 社会福祉士会からの派遣に対しての 5,000 円補助か、一般ボランティアとして会員が活動した場合も、今後はボランティア証明書を提出いただいて補助を認めるのか、について、みなさまに報告し、意見を求めた
 今回の補助金対象については、災害対策委員長と三役に一任いただくこととする

当日配布議事：ささえあい配分委員会

- ・ 申請 8 件の内、5 件 54 万円について、支出承認をお願いする

質疑：

- ・ 申請のあった市町村に対して、ばあとなあ千葉として助成金への働きかけをまだであればぜひお願いしたい すでに働きかけしている市町村に対しても今後お願いする

事務局次長：

- ・ ささえあい配分支出について配分委員会を通った 6 件の支出について
ご承認いただける方挙手をお願いする→賛成多数
 以上によりささえあい配分支出は承認された

② 公営住宅の問題について、「福祉と司法の連絡会からの意見書」確認及び承認の件
説明：会長

- ・ 「公営住宅の保証人条項を削除することを求める意見書」を県と市町村の住宅管理課と社会福祉部局の 2 箇所に出したいと考えている
- ・ 来年度 4 月から、民法で保証人の範囲を定めなければなくなると聞いており、今の
ような保証人の在り方を替えざるを得なくなる時期でもあるので、出来るだけ早く要望書
を出したいと考えている

事務局次長：

- ・ 意見書の送付について
ご承認いただける方挙手をお願いします→賛成多数
以上により意見書の送付は承認された

以上で、第 5 回理事会を終了する

12:20 閉会